

## 4. 生産性の向上に向けた取組



## 4-1.日本の食品製造業の課題



- **労働集約型**である  
食品は不均一で柔らかく傷つきやすいため、  
人手で扱わざるを得ない、検品や盛り付けなども人の目に頼っている。
- 作業者にとって**過酷な環境**  
低温/高温の環境、刃物を使用する危険な作業、単調な作業等が存在する。
- 製造ラインの切り替えが多い  
消費者嗜好の多様化に対応するため、**少量多品目生産**が必要。



労働人口減少が確実な社会において、中小・零細企業においても、人手に頼ってきた工程を見直し、**自動化**を進めていくことが必要！

### 自動化により目指せること

- 省人化
- 危険・きつい作業を減らして魅力向上
- 品質向上

## 4-2.自動化の障壁 (中小・零細の食品製造企業)

### 1. 人がいない

食品製造業の労働者数は約120万人と推定されるが、  
中小の食品製造企業には、生産技術者は1人以下。



### 2. ものがない

中小の食品製造企業の機械設備は古いまま。  
従業員の多くは仕分、カットなどの細かな作業や重労働を担う。



### 3. お金がない

中小の食品製造企業には設備投資を行う余裕資金がない。

### 4. 情報がない

中小の食品製造企業に出向く機械メーカーは少なく、情報がない。

中小・零細の食品製造企業での自動化は困難と  
諦めている企業が多い

# 4-3.現状把握：食品企業における生産性向上や経営合理化の実態調査

令和6年度当初サステナブル食品産業モデル推進事業のうち食品産業経営合理化推進事業

## 調査の趣旨

- 食品製造業のスマート化には、生産性向上や経営管理・製造部門全体を考慮した経営合理化が必要。
- 食品製造業における生産性向上や経営合理化の取組状況や今後の意向、取組における課題と問題点についてアンケート調査を行い、今後の施策の検討に資する。

## 調査内容

中小・中堅の食品・飲料製造全業種約**6,000社**を対象に電話で聞き取り調査⇒**809件**を回収

### ●アンケート先リスト

業種	回収数
091 畜産食料品製造業	83
092 水産食料品製造業	95
093 野菜・果実缶詰・保存食料品製造業	72
094 調味料製造業	67
095 糖類製造業	21
096 精穀・製粉業	29
097 パン・菓子製造業	73
098 動植物油脂製造業	28
099 その他の食料品製造業	-
0992 めん類製造業	48
0993 豆腐・油揚げ製造業	24
0996 そう(惣)菜製造業	54
0997 すし・弁当・調理パン製造業	49
その他	81
101 清涼飲料製造業	51
103 茶・コーヒー製造業	34
合計	809
うち 従業員301~2000人(中堅企業)	72

### ●アンケート項目

- ① 経営における課題
- ② **経営合理化のために実施した具体的な取組**  
(企業間連携、M&A、間接部門のDX化・アウトソーシング等)
- ③ **生産性向上のために実施した具体的な取組**  
(製造工程・包装保管行程の自動化、製造委託、需要予測システム導入等)
- ④ ②、③による**成果**
- ⑤ ②、③が**利益率の向上などへの寄与度**(利益率向上、製造能力向上等)
- ⑥ ②、③の**評価、課題、問題点**(コスト増、特定の者への業務集中、効果が不十分)
- ⑦ ②、③について、**今後実施したい取組**
- ⑧ 経営合理化や生産性向上を図るために必要となる要素  
(導入コストの低減、成功事例の共有、行政の支援等)
- ⑨ 経営合理化や生産性向上が進んでいる業種、取組の参考になる業種
- ⑩ 経営合理化や生産性向上を実施していない理由  
(コスト負担、人員の不足、導入効果が不明確等)
- ⑪ **経営合理化や生産性向上のためのネック**  
(人材の不足、設備の老朽化、製造工程の見直しが困難等)

## 4-3. 調査結果概要



- 食品企業は、生産性向上等を積極的に取り組んでおり（約6割の企業で取組）、その傾向は経営規模が大きいほど高い（中堅企業では8割）。  
特に、製造面での効率化の取組を重点的に実施。
- 生産性向上等に取り組んでいる企業では、約9割の企業で「製造時間の短縮」、「人手不足の解消」等具体的な成果が上がり、その約8割が今後も取組を継続する意向。  
また、約7割の企業が利益率向上・改善にも寄与と回答。
- 一方、多くの企業で設備投資等のコスト負担、取組を推進する人材不足が課題で、その傾向は経営規模の大きい企業ほど高い。
- 今後も製造部門における自動化・省人化を実施したいとの意向が強く、その傾向は経営規模が大きいほど高い（中堅企業では約6割）。  
また、約5割の企業がコスト負担、人材不足が課題で、その傾向は経営規模の大きい企業ほど高い（中堅企業では6割）。
- こうした中、企業からは、補助金や融資制度などの行政のバックアップやコスト低減、専門人材の教育・育成支援の充実を望む声が多い。

## 4-4.食品製造業等の生産性向上事例(優良事例)の横展開

食品製造業における生産性向上の取組状況や課題について、業界網羅的に実施したアンケート調査に基づき、約50社の優良事例を抽出

農林水産省ホームページ『食品製造業等の生産性向上』にて  
ご紹介可能な約50社の生産性向上に関する取組を紹介

生産性向上等の取組を積極的に行っている食品製造企業に対して、個別ヒアリングを実施し、食品製造業における生産性向上等の取組の実施状況やその問題点や生産性向上等を推進するために必要な要件等を調査。

<公開内容>

- ✓ 受注、生産、品質管理、梱包・運搬、事務管理等の各工程における自動化、ロボット導入、DX・IoT化等の事例



<https://xbusiness.jp/nosui/>

URL及びQRコードは、  
将来的なWEBページへの移行に伴い  
変更となる可能性があります。